

令和8年度 郡上市教育方針

郡上市教育方針は、「第4期郡上市教育振興基本計画」に基づき、今年度特に重点的に取り組む施策や事業内容を示したものです。

郡上市教育振興基本計画 計画期間				
令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)



シン・郡上学 総合文化教室「短歌へのとびら」のようす

郡上市教育委員会

郡上市民憲章

制定：平成 17 年 8 月 29 日

古い歴史と伝統をもち、豊かな自然と文化にはぐくまれた郡上市。
私たちの祖先は、不屈の精神と感謝の心で郷土を切りひらいてきました。
私たちはこの伝統を受けつぎ、郡上市の市民であることに誇りを持ち、新しい
未来に向かって、共に生きるふるさつをつくるためにこの憲章を定めます。

1. 自然を敬い、自然に親しみ、豊かな山河を守りましょう。
1. 命を尊び、思いやりとぬくもりの心を育てましょう。
1. つねに学び、ともに励み、香り高い文化を創りましょう。
1. 心身を鍛え、健康で生き生きとした暮らしをめざしましょう。
1. 仕事に誇りを持ち、生きがいと希望にみちたまちにしましょう。

《 主文にこめられた願い 》

- 1、私たちの祖先は、自然を敬い、その恵みに感謝し、生かされて生活を築いてきました。ところが物質的な豊かさの追求により、環境汚染、自然破壊などさまざまな問題が出てきました。今こそ豊かな緑、美しい清流の里として、郡上の自然を守り育てることが願われます。
- 1、自己中心的な考えが、人命を軽んじ、心を荒廃させ、人と人とのつながりを薄くしています。生あるものの命を尊び、人を敬い、思いやりの心のこもったあたたかいことばを交わし合い、ともに支え合って生きていく人情細やかなぬくもりの里、郡上であることが願われます。
- 1、社会の変化、進展の激しい時代です。青少年期には夢をはぐくみ、壮老年期には知と技を磨くなど、生涯にわたって学び、ともに励みあい、人生を豊かにし、よい風習を築き、暮らしを高め、文化の香りまちなることが願われます。
- 1、健やかなからだと心は、さまざまな困難に挑戦する気力や生活を創造するたくましさの根本です。またスポーツはそれを助け、人と人の連帯感も生み出します。それぞれの時代にふさわしい健康づくりに励み、生き生きとした明るい暮らしをめざすことが願われます。
- 1、物の豊かさが、ともすると仕事へのひたむきな情熱を奪っています。そういう時代の風潮に流されることなく、なすべき仕事に喜びと誇りを持ち、知恵と技を生かして努力することによって、生きがいや希望を生みだし、活気にみちたまちになることが願われます。

1 教育理念

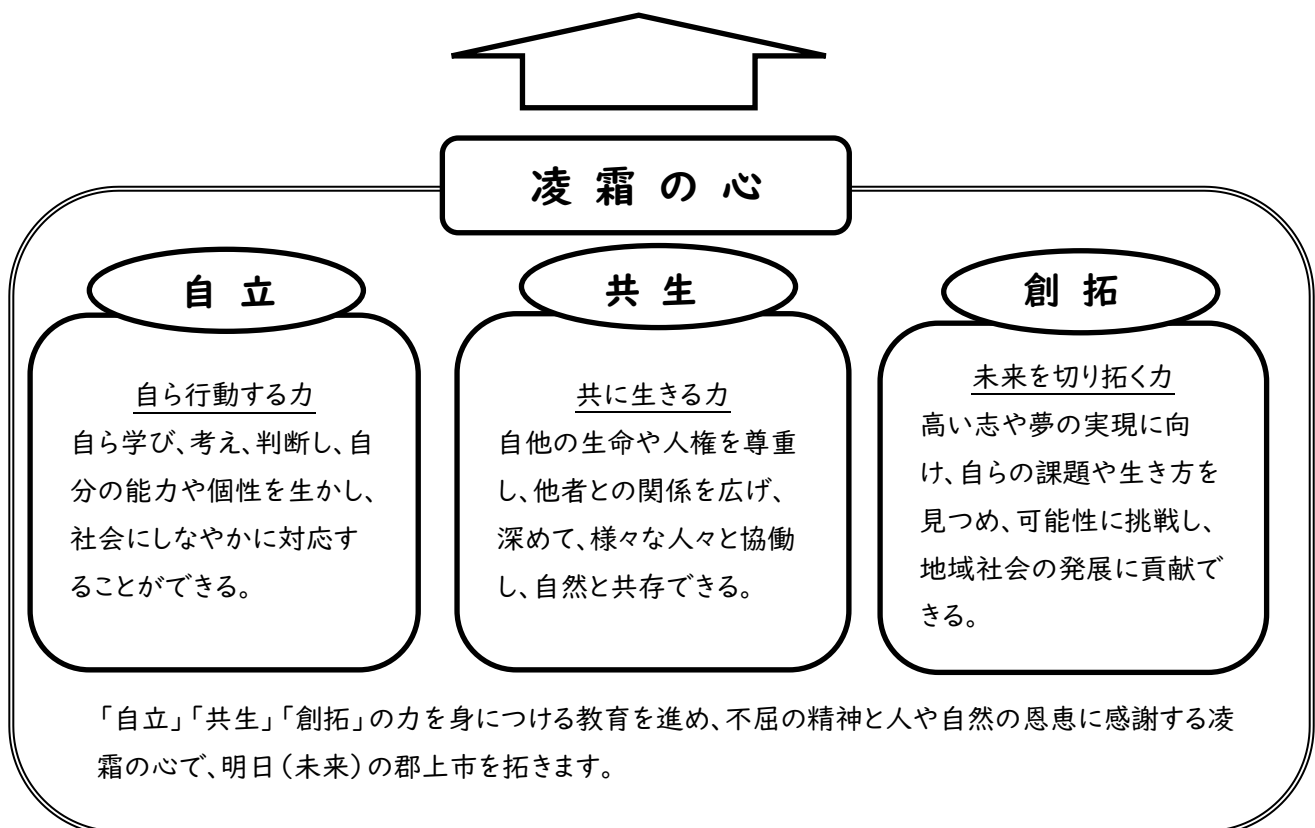
凌霜の心で拓く明日の郡上市

～自立・共生・創拓の教育～

今日の郡上市は、厳しい状況下にあっても霜を凌ぎ、力強く咲く葉菊のように、高い志をもって多くの困難を乗り越えてきた先人の不撓不屈の精神と人や自然の恩恵に感謝するおかげさまの心を礎として発展してきました。

自立・共生・創拓を理念とした教育では、一人ひとりが、他者と協働しながら、自ら考え判断し、主体的に行動できる力を育むことを目指します。内在的な可能性を信頼し、自主性・自律性を尊重した教育環境を整えることで、自らの力で課題の解決を目指す「自立」を促します。また、他者との対話や協働を通じて異なる視点に触れる機会を設けることで、お互いを認め合い、ともによりよい解を生み出していく「共生」の心を養います。そして、こうした学びの過程で想像力や創造力が自然に培われ、独創的な視点や新しい価値を生み出す「創拓」ができる郡上人を育てることを教育理念とします。

明日の郡上市



2 めざす姿

たくましく共に生きる郡上人の育成

生きがいと希望にみちた社会の実現

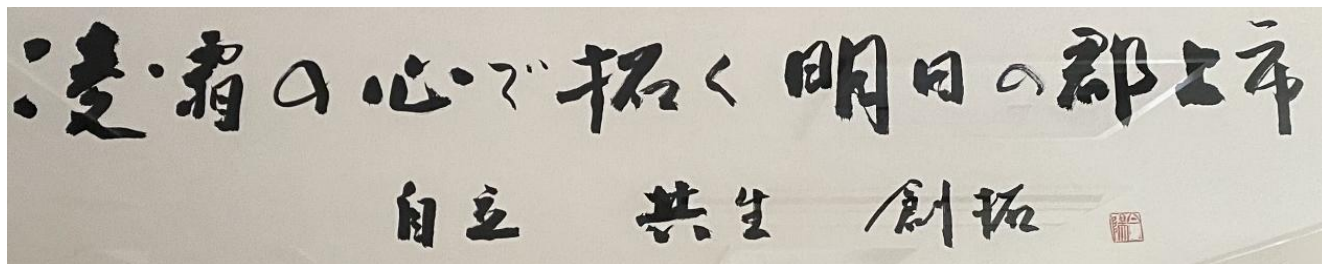
多様な背景を持つ人々が共生する社会の実現に向けて、教育は一人一人の可能性を最大限に伸ばすことが重要です。性別、障がいの有無、国籍、人種等にかかわらず、すべての子どもたちが平等な教育機会を保障されることが不可欠です。一人一人の個性や特性に応じ、その能力が最大限に発揮できるよう支援する個別最適な学びと、多様な他者と協働し高め合う共生的な学びのバランスが大切です。

また、急速な社会の変化に柔軟に適応し、新たな価値を生み出していくことができる資質・能力が求められます。創造性を育み、主体的に判断し行動できるようにするとともに、多様な人々と対話し協力する態度が必要です。

I C Tを活用した学びと、地域社会と連携した実践的な学びを通じ、理論と実践を往還しながら、社会の課題解決に繋がる資質・能力を身につけられるような支援が必要になります。

一人一人の可能性を開花させ、多様な人々が相互理解と社会貢献の精神をもって共生していくことができる社会の担い手を育てることを教育のめざす姿として取り組みます。

郡上人：郡上で生まれ育った人や郡上で暮らす人、郡上を愛する人の総称



3 基本方針

郡上市教育振興基本計画では、様々な課題に対し、学校・家庭・地域が連携・協働しながら、次代を担う子どもたちの可能性を最大限に引き出す教育の実現を目指します。また、郡上市ならではの魅力である自然環境や歴史文化を活かすとともに、これらの教育資源を有効に活用した「郡上学」の推進や、地域とともにある学校づくり等、地域社会全体で子どもたちの成長を支える教育システムの構築を目指します。

この計画の推進により、一人一人の可能性を引き出す教育を実現し、ふるさとへの誇りと愛着を育みます。併せて、教育を通じた魅力あるまちづくりを推進し、郡上市の活性化と地方創生に寄与することも目指します。

(1) 豊かな人間性と健やかな体を養う

生命を大切にし、お互いに助け合い、協力して生きることのできる豊かな人間性と健やかな体を養う教育を進めます。

(2) 確かな学力を養う

粘り強く生き抜く基盤となる確かな学力とグローバル化する社会で自ら学び考える力を身に付ける教育を進めます。

(3) ふるさと教育「シン・郡上学」を充実する

これまでの郡上学をさらに深め、より親しむ郡上学へと進化させる「シン・郡上学（深・親・進）」を充実します。

(4) 地域社会を担う人材を育てる

地域社会人(郡上人)として自覚と責任をもち、地域社会の発展のために考え行動できる人材を育てる教育を進めます。

(5) 多様な文化活動を進める

伝統芸能や文化財を継承し、文化に親しみ、文化を大切にするふるさとづくりを進めます。

(6) 特色あるスポーツ活動を進める

スポーツに親しむ機会の充実、交流活動をととした地域づくり、活動を支援する人材育成に取り組みます。

(7) 子どもたちの夢を育てる

子どもたちが志高く生き、夢や目標に向かって挑戦できるよう、地域と連携したキャリア教育を進めます。

(8) 安心して学べる教育環境を整える

安全で快適な教育環境づくり、家庭と地域が協働で学び合う学校づくりを推進します。

4 計画の体系

基本理念

凌霜の心で拓く明日の郡上市
自立・共生・創拓の教育

基本目標

たくましく生きる郡上人の育成
生きがいと希望にみちた社会の実現

基本方針「郡上市教育大綱との共通事項」

(1) 豊かな人間性と健やかな体を養う

生命を大切にし、お互いに助け合い、協力しあって生きることのできる豊かな人間性と健やかな体を養う教育を進めます。

(2) 確かな学力を養う

夢の実現をめざし、粘り強く生き抜く基盤となる確かな学力と、グローバル化する社会の中で自ら学び考える力を身に付ける教育を進めます。

(3) ふるさと教育「シン・郡上学」を充実する

ふるさと郡上を学び、これからの郡上を考え行動するこれまでの郡上学を、さらに深め、市民がより親しむことができる郡上学へと進化させる「シン・郡上学（深・親・進）」を充実します。

(4) 地域社会を担う人材を育てる

生涯にわたり共に学び合える環境づくりを推進し、地域社会人（郡上人）として自覚と責任をもち、地域社会の発展のために考え行動できる人材を育てる教育を進めます。

(5) 多様な文化活動を進める

伝統芸能や文化財を継承し、文化に親しみ、文化を大切にするふるさとづくりを進めます。

(6) 特色あるスポーツ活動を進める

誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ機会を充実し、健康・体力づくりや交流活動をとらして元気な地域づくりを進めるとともに、青少年のスポーツ活動を支援できる人材育成に取り組めます。

(7) 子どもたちの夢を育てる

子どもたちが志高く生き、夢や目標に向かって挑戦できるよう、学びと将来をつなぐ、地域と連携したキャリア教育を進めます。

(8) 安心して学べる教育環境を整える

誰もが安心して学ぶことができる安全で快適な教育環境づくりと、教育効果を高める幼保小が連携した教育体制づくりに取り組むとともに、家庭や地域と連携・協働し共に学び支え合う学校づくりを推進します。

重点施策

1 未来を創拓する
「シン・郡上学（深・親・進）」の推進

2 未来を切り拓くために
自ら学び考える力の育成

3 持続可能な社会の創り手を育成する
キャリア教育の充実

4 特別支援教育の充実

5 豊かな人間性を育成する教育の推進

6 家庭・地域の教育力の向上

7 次世代につながる芸術文化活動の推進

8 共に学び合う生涯学習の充実

9 幼児教育と幼保小の連携強化

10 地域とともにある学校づくり

11 健康的な生活習慣の確立

12 スポーツに参画できる環境の整備

13 安全安心な教育環境の整備

具体的な取り組み

①地域について学びを深める「シン・郡上学」の推進
②子どもから成人まで一貫した「シン・郡上学」の充実
③地域における「シン・郡上学」の推進

①「しなやかな学び」と「豊かな学び」の視点での授業改善 ②指導力の向上
③グローバル化に対応した教育の推進 ④今日的な課題に対応した教育の推進
⑤読書活動の推進 ⑥ICTを活用できる力の育成

①小中学校を一貫したキャリア教育の推進
②地域に根差した企業等でのインターシップや地域企業から学ぶ勤労体験の充実
③個性や能力を伸ばす機会の充実④ウェルビーイングの視点を取り入れた教育の推進

①支援を必要とする子ども一人一人に対応した教育の推進
②「第4次子どもかがやきプラン」と連携した教育の推進
③すべての子どもに公平な教育機会を提供する

①生命の尊重と道徳教育の充実
②人権尊重の風がみなぎる学校づくり
③教育相談体制の充実

①家庭教育の推進
②青少年の健全育成の推進

①伝統文化、伝統芸能等の継承活動の支援
②文化・芸術に触れ、親しみ、創作活動に参加できる環境づくり
③文化財の保存と活用の推進

①生涯にわたる学びの場の提供 ②公民館活動の推進と施設等の整備
③学校と協働した地域活動の充実 ④図書館を活用した生涯学習の推進
⑤博物館等を活用した生涯学習の推進

①幼児教育の推進
②すべての子どもに平等な教育機会を提供
③幼児教育の質の確保 ④円滑で継続した幼児教育の推進

①家庭・学校・地域が連携した持続可能な教育活動の推進
②学校と地域が深くつながる地域学校協働活動の推進

①学校保健、食育の推進
②生活リズムの向上
③学校や地域におけるスポーツの機会の充実

①子どもたちのスポーツ活動の推進
②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
③スポーツツーリズムの推進

①安全で快適な教育環境、通学環境の整備
②学校の適正配置・適正規模の計画的な推進 ③勤務環境の改善
④防犯・防災体制の整備 ⑤教育の機会均等の推進

5 今年度の各課の重点事業・取り組み

教育総務課

郡上市の教育は令和7年度からスタートした「第4期郡上市教育振興基本計画」に基づき、多様な個性を尊重しながら個々の能力を発揮できる教育を推進するため、学校・家庭・地域・関係機関が連携した様々な施策を実施します。

学校規模の適正配置については、令和7年12月議会で議決を得た「美並小学校」を令和10年4月に郡南中学校との小中一貫校として開校するため、令和8年度は校舎棟の建設に着手します。また、美並小学校の校章や校歌を策定するため、美並地域小学校統合準備委員会との協議を推進します。

就学支援としては、経済的理由により就学機会を逃すことがないよう、無利子の奨学資金による支援を継続します。また、奨学資金返還の一部免除制度の活用を促すことで、卒業後の経済的負担の軽減と市内へのUターンにつなげます。

- 小中学校の適正配置・再編行動計画の推進
- 美並小学校の整備推進
- 奨学金貸付事業

学校教育課

学校教育課では、すべての子どもたちが安心して学び、自らの可能性に気づき、可能性を伸ばし、広げることのできる支援体制の充実を図ります。

子育て支援においては、これまで行ってきた高校生通学・下宿支援事業に加え、小学校まで拡充して給食費無償化を実施します。

「しなやかな学び（個別最適な学び）」と「豊かな学び（協働的な学び）」とを一体的に推進するために今年度も教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などにおいて、タブレット等のICT機器を適切に活用します。また、今年度は11月に和良小学校においてICT活用の実践発表（公表会）を行います。

また、地域の魅力に親しむための体験活動の充実、コミュニティ・スクールと地域学校協働の活用と連携、地域に根差した企業等でのインターンシップや地域企業から学ぶ職場体験の充実、地域の未来を考え、自分たちができることを実践する地域貢献活動を重点項目に掲げ、「シン・郡上学」を推進します。

このほか、昨年度立ち上げた不登校未然防止プロジェクトチームと連携を図り、学校風土の「見える化」を図るなどし、不登校の未然防止と早期発見・早期対応に取り組みます。また、今年度よりすべての中学校に校内学習支援センター（F組）を設置し、誰一人取り残されない、多様な学びの場とします。

- 高校生通学・下宿支援事業
- 小・中学校給食費無償化
- シン・郡上学推進事業
 - ・ 地域の魅力に親しむ体験活動
 - ・ 地域人材から学ぶ
 - ・ 地域企業から学ぶ体験活動
 - ・ 地域貢献活動の推進
- 学力向上事業
- ICT教育推進事業
- 学習支援センター事業
- 教育支援事業

生涯学習課

社会教育では、地域の担い手となる子どもたちを育成するため、地域・家庭・学校が連携する地域学校協働活動の推進、家庭教育学級の開催による家庭教育力の向上、および青少年育成市民会議等による青少年の健全育成を図ります。

生涯学習における「シン・郡上学」は、小学生を対象とした「こども講座」や中学生を対象とした「総合文化教室」を中心に、郡上の自然や文化に親しみながら、地域課題を主体的に考え解決できる力を養います。

令和6年度より進めてきた、子育てを学ぶ機会である市内幼保園および認定こども園の年長園児の保護者を対象とした「郡上市子育ての日」を開催し、地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりを進めるとともに、保護者が家庭教育で抱える不安を解消するための家庭教育支援チームの活動を推進します。

また、郡上の森林資源を活用し、子ども達が身近に木に触れる機会を提供する「木遊館サテライト施設」を開館し、「木育のいっぽ」を推進します。

図書館では、子どもの読書活動を広げるため、読書の楽しさを家族で共有し絆を深める「家読（うちどく）」を推進するとともに、市民の学びの場と自立を支援し、地域の発展に寄与する、暮らしに役立つ図書館づくりを目指します。

文化財関係では、令和7年12月に認定された「郡上市文化財保存活用地域計画」に基づき、計画的に文化財の保存と活用を進めます。あわせて、市内の貴重な文化財や歴史資料等を後世に継承するため、適切な保存に努めるとともに、歴史資源としての活用に向けた調査研究を進めます。特に、県指定重要文化財・若宮家住宅については、文化財としての更なる調査や、建設水道部が進める「白山古道」調査研究事業と連携し活用に向けた研究を進めます。また、シン・郡上学事業と連携し、次世代の子どもたちが歴史文化に触れる機会を提供します。

文化振興では、市民が育んできた文化・芸術活動を振興し、市民にひろく文化に触れる機会を提供します。

スポーツ振興においては、市民が生涯を通じて心身ともに健康で、安心してスポーツに参加できるよう、「する・見る・支える・集まる・つながる」環境づくりを推進し、誰もがいつまでもスポーツに親しめるまちを目指します。

学校部活動の地域クラブ活動への移行が令和7年9月に完了したことを踏まえ、今後は小・中学生が共に活動できる体制の構築や、地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みの充実を図り、好きなスポーツを継続して楽しむことができる環境を維持します。加えて、少年スポーツを支える指導者の確保・育成を継続し、研修会等を通じてさらなる資質向上を支援することで、適切な指導体制の構築に努めます。

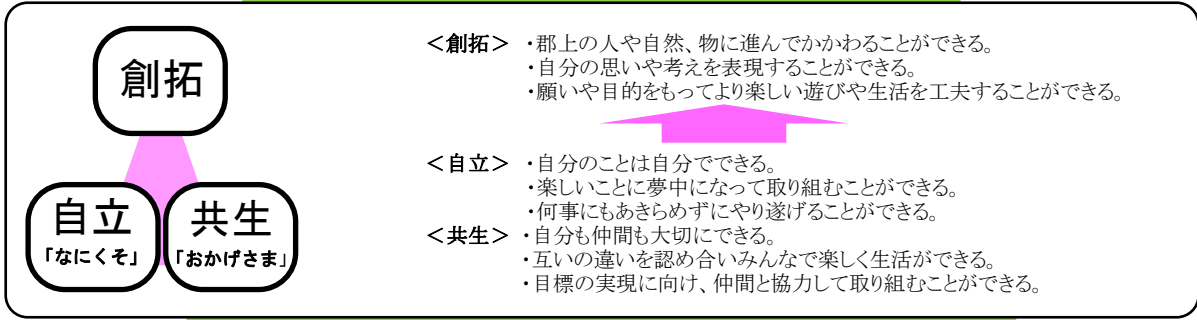
スポーツツーリズムの推進では、良好な気候とアクセスの良さを活かした競技大会や合宿の誘致を継続し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。併せて、ワンストップ窓口によるサービス提供のさらなる充実など、受け入れ態勢の強化に努めます。

- シン・郡上学推進事業
- 家庭教育学級事業
- 地域学校協働活動推進事業
- 文化財保護事業
- 若宮家住宅等整備事業
- ぎふ木遊館サテライト施設管理経費
- スポーツ推進委員活動事業
- 生涯スポーツ振興事業
- 少年スポーツ推進事業
- スポーツ協会支援事業
- スポーツ強化種目育成事業
- スポーツツーリズム推進事業

■教育理念

凌霜の心で拓く明日の郡上市 ～自立・共生・創拓の教育～
 <めざす姿> たくましく共に生きる郡上人の育成・生きがいと希望にみちた社会の実現

■めざす幼児像



■全ての園が、家庭・地域と連携して推進する3つの「大切」活動（めざす姿を具体的に実現するための基盤となる活動）

「まめで」 ○あいさつ ○ことば ○はたらくこと

□3つの「大切」活動について

3つの「大切」活動は、郡上の<めざす姿>を具体的に実現するための基盤となる活動であり、それぞれの達成状況を幼児の具体的な姿として端的に示すものである。

- ・「まめで」は、郡上でよく使われる言葉で、「健康」「働き者」の意味を含む総称とし、3つの「大切」活動を象徴する言葉である。
- ・「あいさつ」は、相手を尊重する心の現れであり、いつでも、どこでも、誰に対しても、「あいさつ」ができることは、共に生きるための基盤として大切にされる。
- ・心は「ことば」に表れ、温かい「ことば」は、人間関係を育み、自己肯定感を高めていく。人権尊重の基盤として「ことば」の大切さを重視する。
- ・「はたらくこと」は日常生活を成立させる基本的要件であり、将来を見据えたとき、「甲斐性」があり「まにあう」人材を育てることにつながると捉える。
- ・3つの「大切」活動を達成するためには、園・家庭・地域の連携が不可欠であり、それぞれの役割と連携の仕組みを共通理解して育てる。

■重点

園経営：楽しく・安全安心、誰からも信頼される園づくり

◇「生きる力」の基礎を育む教育活動の展開

- 幼児が主体的にかかわる環境構成、五領域と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について理解し、それを踏まえた教育課程を編成する。
- 「命の大切さ」に気づき、自らの命を守ろうとする力を身につける安全教育（生活安全・交通安全・災害安全）を推進する。
- 互いの心の尊重と一人一人が輝く教育を展開する。
- 発達段階や一人一人の特性を捉えたねらいを明確にし、幼児期の各時期にふさわしい生活が展開されるよう指導計画を作成する。

◇職員、保護者、地域、各園・学校、関係機関の連携、協働

- 幼・保・小の交流や情報交換を通して相互の教育内容や方法の理解を深め、円滑な接続に努める。
- 特別な配慮を要する子の支援システムを活用し、早期対応により幼児の健全やかな成長を促す。
- 子育て支援を担い、地域に開かれた園としての役割を果たす。
- 多様な家庭環境を理解し、家庭と連携しながら家庭教育力（幼児期にふさわしい生活習慣や親子のコミュニケーションづくり等）の向上につなげる。
- 地域の人々と積極的にかかわり、自然や伝統文化等を学び、シン・郡上学の推進を図る。

◇職員の「使命感」「幼児理解力」「指導力」の向上に努め、情熱と誠意をもって園経営に参画する職員の育成

- 保育者としての専門職意識を高め、同僚と協働して園運営をより円滑に進める。
- 日々の交流・事例検討・異年齢保育を通じ、一人一人の発達特性を多面的に理解し、幼児期にふさわしい指導を全職員で共有し実践する。
- 園内外の研修を活用して相互に学び合い、理解を深めつつ、自己の持ち味を生かして指導力を向上させる。
- 「願いの共有－役割の明確化－実践の具体化－成果の共有」を教育活動の基本として展開する。
- 幼児の人権と生命を守る責任を自覚し、倫理性を磨き、安全・安心な環境の中で一人一人の存在を丁寧に育成する。

指導：三つの自立を意識した主体的・対話的な深い学びの推進

◇「生活する力」を育む

- 心身共に健全な成長に向け、食育の推進と基本的生活習慣の自立を図る。
- 興味・関心をもち、挑戦しようとする心に共感し、やりきれた喜びや満足感、自信へとつなげる。
- 伝えたいという思いや相手の思いを理解しようとする気持ちをもち、話したり聞いたりする意欲や姿勢を育てる。
- 数量や図形、標識や文字などに親しみ、身近な事象への興味を深め生活の中に取り入れようとする力を育てる。

◇「自ら学ぶ力」を育む

- 人や物とかかわり夢中になって遊ぶ体験を通して、工夫して遊ぶ過程の楽しさや面白さ、心と体を動かし遊び込んだ充実感を味わい、自ら心を動かし環境に関わろうとする力を育てる。
- 生活経験や発達に応じて表現しようとする意欲を育み、自ら様々な表現を楽しめるようにする。
- 動植物とかかわる活動を通して、命の尊さに気づかせ、いたわったり大切にしたりする心を育てる。
- 絵本や物語に親しむ経験や、人の話を集中して聞く機会を大切にすることで、興味をもって聞いたり、想像したりする楽しさを味わえるようにする。

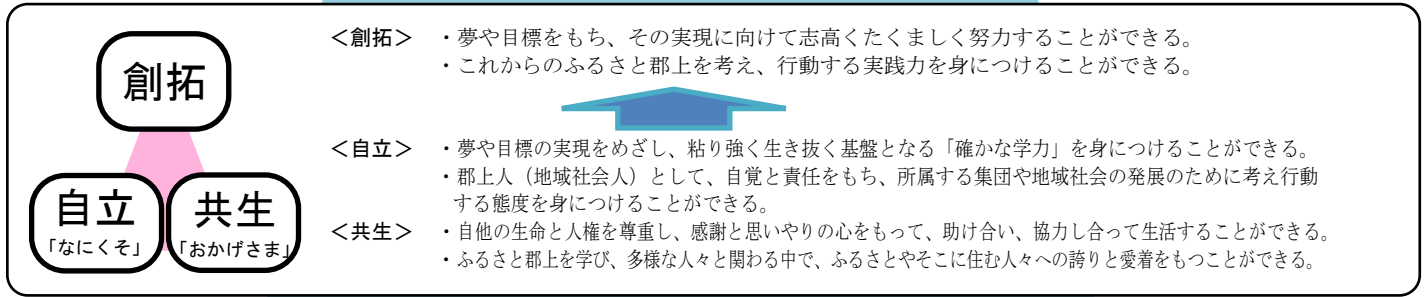
◇「人とかかわる力」を育む

- 多様な感情体験を通して、相手の思いに気づき、互いのよさを認め合えるようにする。
- 共通の目的に向かって思いを出し合ったり考えたりする場を大切に、仲間と協力して一緒に活動する楽しさや満足感を味わえるようにする。
- きまりを守ることで生活や遊びが楽しくなることや安全につながることに気付かせ、規範意識の芽生えを促す。
- 地域の人や資源（伝統文化、芸能、自然環境）に親しむ経験を重ねることで、ふるさとのよさを感じられるようにする。
- 身近な人とかかわりの中で愛着関係を育み、信頼感や自己肯定感を感ぜられるようにする。

■教育理念

凌霜の心で拓く明日の郡上市 ～自立・共生・創拓の教育～
 <めざす姿> たくましく共に生きる郡上人の育成・生きがいと希望にみちた社会の実現

■めざす児童生徒像



■全ての学校が、家庭・地域と連携して推進する3つの「大切」活動（めざす姿に迫るための基盤となる活動）

「まめで」 ○あいさつ ○ことば ○働くこと

□3つの「大切」活動について

- ・「まめで」は昔から郡上でよく使われる言葉で、「健康」「働き者」の意味があり、3つの「大切」活動を総称する言葉である。
- ・「あいさつ」は、相手を尊重する精神の現れであり、いつでも、どこでも、誰にでも、「あいさつ」ができることは、いじめや不登校の未然防止にもつながると捉え、共に生きることの基盤として大切にす。
- ・心は「ことば」に表れる。温かい「ことば」は、温かい人間関係を作り、自己肯定感を高めていく。「確かな学力」を養うとともに人権尊重の基盤として「ことば」を大切にす。
- ・「働くこと」は人としての生活を成立させる基本的要件であるとともに、将来の郡上人（地域社会人）として「甲斐性」があり「まにあう」人材を育成することにつながると捉える。
- ・3つの「大切」活動を達成するためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠である。

■重点

<p>未来を創拓する「シン・郡上学（深・親・進）」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○郡上への愛着を高めるために、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の活用と連携を図るとともに、郡上の魅力に親しむための体験活動を充実させる。 ○郡上の未来を考え、自分たちができることを実践する地域貢献活動を推進するとともに、地域に根差した企業等での勤労体験を充実させることで、自己と社会への理解を深めながら進路の選択肢を広げられるようにする。 ○「キャリアパスポート」を用いて、子どもたちの選択肢拡大のサポートや理解深化を促し、自己の能力や適性等を考える指導の充実を図ることで、効果的なキャリア教育の実践を行う。 	<p>豊かな人間性を育成する教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「郡上市命の教育カリキュラム」の理念を共有し、多様な他者とながら関わりながら、自他のかけがえのない命を大切に、よりよく生きるための道徳性を養う道徳教育を、教育活動全体を通じて推進する。 ○人権尊重の気風がみなぎり、多様な価値観や個性を受容し、誰もが安心して生活できる人権教育を推進する。 ○自発的、自治的な集団づくりに取り組む教育活動の充実を図る。 ○健康で安全な生活習慣づくりの支援体制を充実させる。
<p>「確かな学力」を養う授業の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生きて働く知識・技能の定着を図るとともに、実践的・体験的な学習を通して思考力・判断力・表現力を身に付けさせることで、自ら学び考える力（学びに向かう力）を育成する。 ○「しなやかな学び」（個別最適な学び）と「豊かな学び」（協働的な学び）を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業の工夫・改善を通して、活用力や自己の可能性を広げる力が身につく授業の充実を図る。（AIドリル、デジタルコンテンツ等の活用も含む） ○児童生徒が、自ら考えたり、仲間と協働しながら課題解決したりするとともに、学びの楽しさを実感する授業を行い、多様な学び（課題づくり・追究/追求方法・活用の場等）に対応するためのICTを活用した実践を行う。 	<p>地域とともにある魅力ある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SDGsを踏まえ、学校と地域コミュニティとの信頼関係を基盤として「シン・郡上学」を推進する。 ○地域全体で児童生徒の成長に寄り添い、支えるしくみづくりに向けて、校区の実態に応じた多様で継続的な活動を工夫し、「学校運営協議会（CS）」「地域学校協働活動」の一層の充実を図る。 ○地域学校協働活動を推進し、学校と地域住民、保護者が一体となり、子どもを心身ともに健やかに育む教育環境を生み出す。 ○地域人材の活用と地域の資源を生かした協働的な学びを推進し、子どもたちが地域の特性に触れる機会を充実させることで、「魅力ある学校」づくりを図る。
<p>特別支援教育の充実と不登校対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員個々の特別支援教育への理解を深める研修推進体制を確立する。 ○支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応える柔軟な指導体制や、あらゆる児童生徒が共に学ぶ機会の充実を図る。 ○支援を必要とする児童生徒への支援を途切れさせないための学校間や関係者・関係機関等との連携体制を確立する。 ○児童生徒一人一人が安心できるための学校・学級の環境・雰囲気づくりの推進と、外部専門家等との連携や活用による教育相談体制の充実を図る。 	<p>安全安心な教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自らの命を守る判断力や行動力を身につける安全教育（生活安全・交通安全・災害安全）を推進する。 ○教職員個々の危機管理意識や人権感覚を磨くと共に、非常変災時に備えて連携強化に努め、児童生徒の生命と人権を守りきる危機管理体制を確立し、機能させる。 ○教職員が心身ともに健康な状態で児童生徒と向き合い、情熱や誠意をもって指導できるようにするために、「教職員の働き方改革プラン」に基づき、長時間勤務・多忙化解消を推進する。

<p>3つの「大切」活動</p>	<p>3つの「大切」活動について、学校・家庭・地域が連携した活動を工夫する</p> <p><あいさつ> あいさつ・コミュニケーションづくりの活動 (例) あいさつ運動 あいさつ標語づくり 家族で朝食(夕食)活動</p> <p><ことば> 温かい人間関係、思いやりの心を育てる活動 (例) 温かい言葉かけ活動 人権標語づくり 家族への一行詩 地域行事への参加</p> <p><働くこと> 働くことよさに気付く活動 (例) 掃除 一家庭一ボランティアの活動 家族で一人一役活動 地域行事の参加・参画</p>
<p>学校経営(研修)</p>	<p>全教職員が誠意と情熱をもって学校経営に主体的に参画する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員個々の危機管理意識や人権感覚を磨くと共に、児童生徒の生命と人権を組織で守りきる危機管理体制を確立し、児童生徒の安全安心の確保に努める。 ・校区の実態に応じた学校運営協議会の体制づくりを進め、学校運営協議会が中心となり、学校と地域住民、保護者が連携し、共に子どもを育てる教育活動を意図的・計画的に実施する。 ・学校の課題や自己の課題を明確にし、研修主事を中心として、課題解決や教職員の専門性向上に向け主体的な研修や交流を進める。
<p>教科指導</p>	<p>「確かな学力」を養う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態、学習状況、定着状況を常に見届け、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、「しなやかな学び」(個別最適な学び)と「豊かな学び」(協働的な学び)を取り入れた授業の工夫・改善を推進する。 ・多様な学び(不登校児童生徒への個別支援も含む)を実現するよう、ICTを効果的に活用し、主体的に学んだり、仲間と協働しながら課題解決したりする授業を充実させる。また、自ら学び考えることの楽しさと学びの成果や意義について、児童生徒が実感できる授業を行う。(ICT活用の例: AIドリル、Gifu-webラーニング、学習支援ソフト(ロイノート等)、デジタルコンテンツ等) ・学習規律、学習集団、学習習慣をつくる指導を学年に応じて段階的に進める。 <p><指標> 授業で課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合 (R7 小31.2% 中24.6%→R11 小60% 中50%)</p> <p>授業の中で児童生徒がよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫した学校の割合 (R7 小43.8% 中25.0%→R11 小60% 中75%)</p>
<p>道徳教育</p>	<p>「郡上市命の教育カリキュラム」を踏まえ、自他の命を大切に、自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区及び自校の道徳教育の重点を明確にし、行事や活動を通して養う道徳性と、要としての道徳科の時間(特別の教科道徳)とを関連付けた指導をする。 ・3つの「大切」活動に関連させ、学校・家庭・地域が連携して道徳教育を推進する。 ・ねらいとする内容項目を明らかにし、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める道徳科の時間を実践する。
<p>(小) 外国語科 外国語活動</p>	<p>小学校外国語科・外国語活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者用デジタル教科書やALTとのやり取りなどの体験的な学びを通して、児童が積極的にコミュニケーションを図ることができるよう授業を工夫する。 ・小・中学校における目指す姿を明確にした「学習到達目標」を活用し、小中の連携・接続を推進する。 ・仲間やALTとの関わりを通して、児童が外国語を用いたコミュニケーションを楽しみ、慣れ親しめるよう活動を工夫する。 <p><指標> (小) 英語の勉強が好きだと答える児童の割合 (R6 小20.2% →R11 小50%) ※R7数値なし (中) 授業でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと答える生徒の割合 (R6 中33.8% →R11 中60%) ※R7数値なし</p>
<p>総合的な学習の時間</p>	<p>「シン・郡上学(深・親・進)」を柱とした探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者との協働により「主体的参加(当事者意識)」「持続型・循環型」「地域貢献・地域学校協働活動」の視点で進化、親化、深化させる「シン・郡上学(深・親・進)」を柱として、SDGs(持続可能な社会)等の広い視野も踏まえながら、目標と育てたい資質や能力を明確にした全体計画、指導計画の工夫改善を図る。 ・地域の様々な教育資源(人・もの・行事・文化・施設・設備等)を活用し、地域の魅力に親しむための体験活動や地域企業から学ぶ体験活動、地域の未来を考え自分たちができることを実践する地域貢献活動を充実させた探究的な学びの充実を図る。 ・学習活動に対する適切な評価と、一人一人の学習状況に応じた指導・援助を行う。 <p><指標> 地域や社会をよくするために何かしてみたいと考える児童生徒の割合 (R7 小36.7% 中26.6%→R11 小70% 中60%)</p> <p>「これからの郡上」について考えることができた中高生の割合 (R6 89%→R11 95%) ※R7数値なし</p>

※<指標>は、郡上市教育振興基本計画(2025年度~2029年度)で示された施策の成果指標より主なものを抜粋

特別活動	<p>所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自発的・自治的な活動の運営の仕方や仲間との関わり合い方を段階的に指導する。 ・育てたい集団の姿を明確にし、年間を通して、意図的・計画的に学級経営をする。 ・「活動の意味付け」「一人一人や集団の変容の価値付け」「今後の活動や生活への方向付け」の指導を意図的かつ具体的に行う。 <p><指標>自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合 (R7 小55.0% 中37.2%→R11 小60% 中60%)</p>
生徒指導	<p>共感的な理解に徹し、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、選択、決定、行動する経験が得られる機会を意図的に設定する。 ・全教育活動を通して、一人一人の生命と人権を尊重するとともに、全教職員が連携して支援を必要とする児童生徒の把握と支援の充実を図り、誰もが安心して楽しく学校生活を送ることができる居場所をつくる。(あらゆる機会を捉えて行う教育相談の実施、「ここタン」の活用、マイサポーター制度の活用等) ・SOSの出し方に関する教育、校内適応指導教室での支援、SCやSSW等外部の専門家による相談等を充実させ、学校と関係者が連携を図りながら支援できる体制を充実させる。 ・不登校やいじめについて、未然防止に努め、管理職のリーダーシップの下、組織的に対応する。
キャリア教育	<p>自己の生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校が連携し、社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育が推進できるよう、キャリア・パスポートを活用し、自己の能力や適性等を考える指導を充実させるとともに、児童生徒の発達の段階に応じた題材系統図、年間指導計画を工夫改善する。 ・望ましい勤労観・職業観を育てるために、他の教育活動との関連を図った学習や体験活動、地域企業から学ぶ勤労体験を充実させるとともに、事前事後の指導を大切にすることで、自己と社会への理解を深めながら進路の選択肢を広げられるようにする。 ・Well-beingの視点を取り入れ、地域の特性に応じた教育を提供することで、地域に暮らす児童生徒の社会性や肯定感を創出し、コミュニティ内でのより良い相互協力関係を構築する。 <p><指標>将来の夢や目標をもつ児童生徒の割合 (R7 小56.5% 中30.4%→R11 小75% 中60%)</p>
健康教育	<p>運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体力・運動能力、食生活・メディアコントロール等の生活習慣、心身の健康状態、及び安全意識等の実態と発達段階を踏まえて指導計画を工夫改善する。(命を守る訓練の年間3回以上の実施と内容の工夫改善、親子で取り組む生活習慣等家庭教育に関わる取組の工夫) ・健康で安全な生活に関する指導内容を明確にし、各教科等の特質及び相互の関連を踏まえた指導や個に応じた指導を工夫する。 ・校務分掌や専門性を生かして健康・安全に関する管理・指導を徹底し、健康被害や事件・事故、自然災害による被害の未然防止に万全を期す。
特別支援教育	<p>一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制づくりと教職員の専門性向上を推進する。(「個別的教育支援計画」及び「個別的教育指導計画」の作成と活用、合理的配慮の共有化等) ・本人・保護者との合意形成のもと「個別的教育支援計画」及び「個別的教育指導計画」の作成・改善を進め、計画に沿った柔軟な指導(通級指導・ICT活用・交流・共同学習等)を充実させる。 ・「個別的教育支援計画」及び「個別的教育指導計画」に沿った支援を、学校間(幼保小中高・特別支援学校等)や関係者間で確実に引継ぐためのネットワークを強化し、切れ目ない支援体制を整備する。 ・学校、家庭、地域及び関係諸機関との連携を密にし、一体となって子どもを育てる意識と支援体制の構築(多様な「学びの場」の整備と「学びのスタイル」づくり)を推進する。 <p><指標>特別支援教育について理解し、授業の中で児童の特性に応じた指導上の工夫を行った学校の割合 (R7 小56.3% 中50.0%→R11 小80% 中80%)</p>
人権教育	<p>人権尊重の気風がみなぎり、誰もが大切にされる学校づくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に人権感覚を磨き、誠意と情熱をもって児童生徒に接する。 ・三つの力「認識力・自己啓発力・行動力」とのつながりを明確にした指導の充実を図る。 ・各学校の人権に関する宣言の具現を目指した活動や、ひびき合い活動、多様な人とふれあう体験活動等(例よさみつけ、人権七夕集会、SOSの出し方に関する教育、人権宣言、赤ちゃんふれあい体験など)を通して、多様性を認め合い、自他の命(かけがえのない命、支え合う命、輝く命)を大切にする教育の充実を図る。 <p><指標>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている児童生徒の割合 (R7 小88.7% 中84.3%→R11 小95% 中90%)</p>
環境教育	<p>環境についての理解を深め、環境を守るための行動がとれる力を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シン・郡上学」を通して、郡上の豊かな自然や文化を学び、ふるさとを愛し、ふるさとを大切にする児童生徒を育てる。 ・様々な環境問題についての関心が生まれ、理解が深まるよう、各教科や領域等の学習との関連付けを図るとともに、協働的な活動を通して思考力・判断力・表現力を育成する。 ・教師自身が地域の自然や文化に関心をもち、その存続や今後の在り方について児童生徒と共に考えていく教育活動を推進する。

令和8年度 郡上市社会教育の方針と重点

市教育振興基本計画の
基本理念

凌霜の心で拓く明日の郡上市～自立・共生・創拓の教育～

めざす姿

- ・たくましく共に生きる郡上人の育成
- ・生きがいと希望にみちた社会の実現

市教育振興基本計画の
基本方針

- ◇ふるさと教育「シン・郡上学」を充実する
- ◇地域社会を担う人材を育てる
- ◇多様な文化活動を進める
- ◇特色あるスポーツ活動を進める

「郡上人」とは、郡上で生まれ育った人や郡上で暮らす人、郡上を愛する人の総称です。

重点1

未来を創拓する「シン・郡上学（深・親・進）」の推進

多様な他者との協働により「主体的参加（当事者意識）」「持続型・循環型」「地域貢献・地域学校協働活動」の視点で「郡上学」を深化、親化、進化させる。

- 「こども講座」「総合文化教室」「短歌道場」等を活用し、自然体験や地域体験の充実を図る。
- 地域再発見事業「サテライト大学」を通じて高校生のキャリア教育を推進する。
- 地域学校貢献型の学びを進め、ボランティアの育成を図る。

重点8

共に学び合う生涯学習の充実

教育機関や多様な地域人材と連携し学習機会や学びの場を増やし、世代を超えた交流を促進することで活力あるコミュニティを育成する。

- 生涯学習情報誌に加え、デジタル技術を活用した情報発信により、学ぶ機会の拡大と充実を図る。
- 学校と連携した公民館活動を進め、地域学校協働活動の充実を図る。
- 図書館や歴史資料館などを活用した講座やイベントを開催し、学びの充実を図る。
- ぎふ木遊館サテライト施設を開館し、来館者の「木育のいっぽ」を推進する。

重点7

次世代につながる芸術文化活動の推進

伝統文化を次世代へ継承するため、地域活動や学校教育との連携を深め、子どもたちが文化に触れる機会を増やし、文化に親しむ環境を創出する。

- 学校や地域における伝統文化の学習・親しみの機会を拡充する。
- 「シン・郡上学」講座の充実を図り、子どもたちの文化活動を活性化させる。
- 郡上市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存・活用を推進する。

重点6

家庭、地域の教育力の向上

家庭と地域の教育力向上のため、子どもを育てる環境づくりと協働体制づくりに取り組む。世代間交流や学びの機会を提供し、健やかな成長を支援する。

- 家庭教育支援チームを活用し、家庭教育学級の充実と子育て支援体制を確立する。
- 「子どもの自己肯定感を高める子育て」をテーマに「郡上市子育ての日」の充実を図る。
- リーダー研修会（子ども会）や中高生の公民館活動への参画を通じて、ジュニアリーダーを育成する。

重点12

スポーツに参画できる環境の整備

地域クラブ活動の展開に伴う環境整備など少年スポーツ活動の推進や、多世代が一緒に楽しめる生涯スポーツの環境づくりに取り組む。スポーツツーリズムの持続可能な活動を推進する。

- クラブ間の連携・統合を推進しつつ、地域クラブ活動の展開を進める。
- 軽スポーツの普及・拡大により、市民がスポーツに親しみやすい環境を整備する。
- 地域が一体となった大会・合宿の誘致を進め、スポーツツーリズムを推進する。

令和8年度 郡上市社会教育の方針と重点【具体的な施策】

重点施策1 未来を創拓する「シン・郡上学（深・親・進）」の推進	
施策	主な事業内容
①地域について学びを深める「シン・郡上学」の推進	<p>(1) 歴史や文化、産業に関するワークショップやフィールドワークの開催 地域に暮らす多様な人々の生き様や地域固有の資源を学ぶことで地域課題を主体的に考え解決できる力を養います。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を再発見し、活かす実践型学習（ワークショップ）の実施 ・自然や地域に親しむこども講座（小学生対象）、郡上の文化に親しむ総合文化教室（中学生対象）、短歌道場の実施
	<p>(2) 地域に根差した企業等でのインターンシップや地域企業から学ぶ職場体験の充実【学校教育】 郡上の産業や観光を体験することを通して、地域への愛着を高めるとともに、キャリア教育につなげ、次世代の人材育成を図ります。</p>
<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業での体験を通して学ぶインターンシップや職場体験によるキャリア教育の充実 ・郡上の魅力（歴史、自然等）を「学ぶ」、「知る」、「楽しむ」体験学習や宿泊学習の実施 	
②子どもから成人まで一貫した「シン・郡上学」の充実	<p>(1) 学校における体験活動や地域貢献活動の充実【学校教育】 地域の魅力をより親しむための体験活動を充実するとともに、地域に進んで貢献する実践活動を推進します。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設や特別支援学校との交流や地域活動への参画等、地域の方との交流を通して、社会とのつながりを充実 ・地域貢献を目的とした、児童生徒による環境美化や花いっぱい活動などへの参画
	<p>(2) 地域課題の解決に向けた探究型（プロジェクト型）学習の推進 ふるさと郡上への更なる誇りと愛着が生まれるよう、多様な他者と協働した体験や活動をこれまで以上に重視する探究型学習を推進し、未来の郡上を切り拓く人材を育成します。</p>
<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生対象の地域再発見事業「サテライト大学」（大学ゼミと連携した講座）を通じた、夢づくりやキャリア教育の推進 ・地域課題解決に向けた、現地体験や地域人材から学ぶ実践型学習（ワークショップ）の実施 	
③地域における「シン・郡上学」の推進	<p>(1) 地域コミュニティと連携した持続可能な地域活動への参画支援 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を中心とした地域人材や地域の資源を活かした協働的な学びを推進します。また、学びの成果を還元、循環する貢献型の学びを進めます。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会（地域コ-ディネーター）を中心としたネットワークづくりと地域人材の活用 ・地域学校貢献型の学びによる、学校支援ボランティア等を育成する講座や研修会の実施

重点施策6 家庭、地域の教育力の向上	
施策	主な事業内容
①家庭教育の推進	<p>(1) 家庭教育に関する支援体制の整備と支援情報の提供 家庭教育支援チーム等の家庭教育支援体制を整え、子育てに関する悩みや不安を共有し、適切なサポートをすることで子どもたちの健全な育成を促します。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援コーディネーター、家庭教育支援員を配置し、子育て支援を推進 ・幼保、小中学校での家庭教育学級や乳幼児学級に参加できない保護者のための、デジタルを活用した子育て支援コンテンツの作成
	<p>(2) 保護者向けの子育てセミナーや教育講座の開催 児童家庭課と連携し、家庭と地域が一体となって子どもを心身ともに健やかに育むための教育講座を開催します。</p>

	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流を促進するため、ワークショップ形式を活用した家庭教育リーダー研修会の実施 ・「郡上市子育ての日」のテーマとして、「子どもの自己肯定感を高める子育て」についての講話や、保護者のための意見交流会の実施
②青少年の健全育成の推進	<p>(1) 地域ぐるみでの青少年育成活動の推進</p> <p>家庭や地域と連携し、子どもを健やかに育む環境を整え、健全育成を図ります。地域での行事やボランティア活動に参加する機会を提供し、社会貢献の重要性を学ぶことで、青少年の社会参加を促進します。同時に、公民館等による世代間交流活動や地域学校協働活動を通して地域ぐるみで子どもを育成します。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダーを育成するため、市内全域を対象としたリーダー研修の実施

重点施策7 次世代につながる芸術文化活動の推進	
施策	主な事業内容
①伝統文化・伝統芸能等の継承活動の支援	<p>(1) 地域の伝統芸能・文化財の継承活動への支援</p> <p>伝統芸能・技術を保持する個人・団体への支援を行うとともに、学校や地域において伝統芸能・技術に触れ、親しみ、活動に参加できる環境づくりを推進します。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市指定無形民俗文化財の継承に対する支援 ・市内保護団体間の連絡、相談体制の構築に向けた協議の実施 ・伝統文化、伝統芸能等の活動に参加できる環境づくりに向けた文化振興事業の展開及びシン・郡上学推進事業との連携
②文化・芸術に触れ、親しみ、創作活動に参加できる環境づくり	<p>(1) 子どもたちの芸術体験活動の充実(文化ホールでの鑑賞教室等)</p> <p>児童生徒が文化活動の成果を発表する場を確保するとともに、文化芸術活動のすそ野の拡大と文化活動の振興を図ります。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動の充実のためシン・郡上学における総合文化教室と連携した教室の開催
	<p>(2) 多様な技法を用いた芸術表現の場の提供</p> <p>デジタル等多様な技術を活用した芸術表現を発表する場の提供やコミュニティ形成の場づくりを支援します。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市文化協会と連携した、多様な芸術表現の場やコミュニティ形成の場づくりとしての市美術文化祭の開催
③文化財の保存と活用の推進	<p>(3) 文化芸術活動の合同練習や共同発表の推進</p> <p>異なる地域のメンバーが集う場を整備することで、演奏技術や創作活動の技術を学び合うとともに、多様性を深化させた表現活動を育みます。</p>
	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動としての市文化協会が主催する、市美術文化祭、市文芸祭、市芸能祭、市器楽演奏会、市合唱祭の開催等に対する活動支援
	<p>(1) 文化財の保存と活用に対する取り組み</p> <p>文化財の管理や修理等に対して支援を行い、文化財の適切な保存を図ります。また、各地域の文化財等を適切に保存し、地域資源として活用を推進します。</p>
<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡上市文化財保存活用地域計画に基づいた各種文化財の保存と活用の推進 ・伝建地区における建造物4件の修理及び修景に対する支援 ・歴史資料の収集・調査の推進とそれを活用した市史編集 	

重点施策8 共に学び合う生涯学習の充実

施策	主な事業内容	
①生涯にわたる学びの場の提供	<p>(1) 多様な生涯学習講座の開催 公民館や図書館、企業等と連携して学ぶ機会の拡大に努めます。同時に、地域と社会に求められるニーズを把握し実践的なカリキュラムを開発します。</p>	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ把握と生涯学習情報誌「まなびネット郡上」の充実 ・木遊館サテライト施設による「木育のいっぽ」の推進
	<p>(2) 社会人向けリスキング教育、リカレント教育の充実(大学での公開講座等) 地元企業との連携によるカリキュラムを開発するとともにオンライン学習の拡充や柔軟な学習プログラムによる学びやすい環境を整えることで、学びの成果を活かせる仕組みを構築します。</p>	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯の学びの機会を提供するため、大学の公開講座や通信教育などの情報発信 ・社会人の学び直しの機会として、図書館等の関連図書資料の充実
	<p>(3) 学習成果を共有するための発表会や展覧会の開催支援 オンラインとオフラインの双方の強みを活かし、魅力的な発表の場を提案します。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の学習成果を発表する展示やメディアの活用、SNS や Youtube 等のデジタル技術を活用した情報発信 	
②公民館活動の推進と施設等の整備	<p>(1) 「集い、学び、つながる」公民館活動の推進 地域住民が集い、学び、つながる場として公民館講座、イベント、サークル活動の開催を支援します。</p>	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども対象の公民館講座の充実による多世代参加の推進 ・地域学校協働活動と公民館活動の連携（地域コーディネーターの活動支援） ・郡上市公民館研修会の実施
	<p>(2) 世代間交流事業の推進 若者や高齢者等の世代間の理解を深める交流イベントやワークショップ・ボランティアを充実します。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の公民館活動への参画促進と、新たな企画の立案と地域リーダーの育成推進 	
③学校と協働した地域活動の充実	<p>(1) 学校と協働した地域活動の充実 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的推進により、次代の担い手を育成します。</p>	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域をつなぐ地域コーディネーターの活動支援と、地域学校協働活動の推進 ・学校支援ボランティアの活用等地域人材による子どもの学びの充実
	<p>(2) 環境問題や社会的包摂、デジタルリテラシー等の今日的な課題に対応した教育の推進 関係機関と連携し、教材や外部人材を有効活用しながら消費者教育の充実を図ります。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・美並地域小中学校（モデル校）が協働し、地域の SDGs をテーマに自然体験や環境問題、地域づくりを学ぶ講座の実施 	
④図書館を活用した生涯学習の推進	<p>(1) 図書館のレファレンス機能を生かした情報提供と講座の開設 知識やスキルを向上させるための講座や講演会を開催し、幅広いテーマを提供します。また、知識を深めたいテーマに関連する本を紹介する等、利用者の学びをサポートします。</p>	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子ども教室やおとなの学校を含む多様な講座やイベントの実施 ・関係機関と連携した「家読（うちどく）」の推進

⑤博物館等を活用した生涯学習の推進	(1) 博物館等での企画展・歴史文化講座等の開催 博物館に所蔵している資料を活かした講座や企画展を工夫するとともに、もっと深く学びたいという要望に応える専門の講師による歴史文化講座等を開催します。	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館での古文書講座等の開催 ・デジタル技術の活用による博物館施設のPR活動の充実

重点施策12 スポーツに参画できる環境の整備
主な事業内容

①子どもたちのスポーツ活動の推進	(1) 学校部活動の地域クラブ活動への移行に伴う環境づくり 休日部活動の地域クラブ活動への移行だけでなく、平日のクラブ活動の在り方について検討し地域一体となった環境づくりを迅速に進めます。	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ団体の統合・連携強化の推進 ・小中高校生が共に地域スポーツクラブで練習できる環境づくり支援
	(2) 指導者の確保・育成 少年スポーツを支える指導者を確保・育成するための指導者講習会等を開催し、ガイドラインの遵守徹底等指導者の資質・能力の向上を図ります。	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・少年スポーツ団体を支援する指導者組織への活動支援 ・ガイドラインの遵守徹底や指導者資格の取得推進
	(3) 多志向の子どもたちが好きなスポーツを楽しめる体制づくり 子どもたちが好きなスポーツを楽しむことができるよう、関係団体が連携しながら、市民や事業者等の参画を促進し、新たな組織体制づくりに努めます。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会等関係団体の役割の明確化と窓口体制づくりの推進 ・種目団体による初心者向けの体験教室等の開催 ・少年スポーツクラブ間の交流事業の充実 	

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	(1) 高齢者や障がい者とともに多世代がスポーツを楽しめる環境づくり 高齢者や障がい者等幅広く参加者が一緒にスポーツを楽しむことができる機会をつくります。また、多世代がスポーツの意義を理解し、楽しみながら支える活動を推進します。	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員による軽スポーツの普及・推進 ・特別支援学校への訪問指導等、軽スポーツ大会の企画・運営
	(2) 生涯を通して市民がスポーツに親しめる環境づくり 競技スポーツだけでなく、レクリエーションスポーツ等誰もがいつまでも親しめるスポーツの推進のため、関係団体だけでなく市民の意見も反映しながら持続可能な市民参画イベントや体験教室を開催します。	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動を支える市民サポーターづくりの推進 ・市内外の企業と連携したスポーツ活動の推進 ・スポーツ施設の適正配置と安全・安心な施設管理 	

③スポーツツーリズムの推進	(1) スポーツツーリズムによる地域一体となった取組の推進 良好な気候とアクセスの良さを活かし、合宿・大会誘致を継続して行い、利用団体の定着化や宿泊施設等と連携した地域一体となった持続可能な活動を推進します。	
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコミッションによる公共スポーツ施設の利活用促進 ・スポーツコミッションの自立化と他関係団体との連携強化 ・スポーツ合宿利用団体の定着化に向けた地域との連携促進 ・宿泊施設と連携した経済効果の高い新たな誘致活動の実施



令和8年度 郡上市教育方針

編集／発行 郡上市教育委員会 教育総務課
〒501-4222 郡上市八幡町島谷 207 番地 1
Tel : 0575-67-1123 Fax : 0575-65-2584
ホームページ <http://www.city.gujo.gifu.jp>
E-メール kyouiku@city.gujo.lg.jp